

**第 1 回**  
**富士市総合計画審議会 第 3 分科会**  
**議事録**

令和 3 年 5 月 1 2 日(水) 午後 7 時 0 0 分～

富士市役所 8 階 政策会議室

【基本目標4 豊かな環境を保ち継承するまち について】

- 加藤会長 事務局からの説明が終わりましたので審議を行っていきたいが、一括審議するにはボリュームがあるため、政策分野ごとに審議していきたい。  
まず、政策分野1「地球環境」についてご意見ご質問等ありましたら、お願いします。
- 土屋委員 温室効果ガスの抑制とのことだが、二酸化炭素排出量実質ゼロの2050年達成に向けて、二酸化炭素中心の施策という位置づけになるのか。  
また、E S C O事業についてはわからないので、注記を付けた方がよいのではないか。
- 事務局 温室効果ガスの抑制について、二酸化炭素のほか、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンの4種類を温室効果ガスとして位置付けており、委員ご指摘の通り、多くは二酸化炭素を主な対象と考えている。  
また、2点目のE S C O事業について、顧客が目標とする省エネルギー課題に対して包括的なサービスを提供し、実現した省エネルギー効果、導入メリットの一部を報酬として受け取る事業である。  
総論8ページにも記載があり、そちらで注釈を記載する予定であるが、ご指摘を踏まえて記載させていただきたい。
- 加藤会長 土屋委員よろしいでしょうか。池田委員お願いします。
- 池田委員 クールチョイス22について、内容を教えてほしい。
- 事務局 クールチョイスについては、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、先日国にて数値目標を変更する旨の発言があったが、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品、サービス、行動等、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動で、環境省が提唱した運動である。
- 事務局 クールチョイスは環境省の施策だが、22と付けたのは「ふじ」の語呂合わせで、これが富士市版ということになる。
- 片山委員 基本方針や施策に、事業者と連携、事業者と協働という記載が見られる。  
既存の事業でも連携しているものもあると思われるが、具体的に事業者と

は何を想定しているのか。

事務局 一般的に想定される事業者としては生産部門だが、大企業から中小企業まで様々な企業と温暖化対策に取り組んでいく必要があると思っている。  
例えば、太陽光パネルやLEDの中小企業導入補助を創設し、中小企業の皆様とも取り組んでいるところである。

加藤会長 片山委員よろしいでしょうか。ほかにご意見があればお願いします。  
壽福委員どうぞ。

壽福委員 クールチョイス22について、一般的ではないと思う。22が富士につながること、22が意味することを記載するとわかりやすいのではないか。

事務局 クールチョイス22については、語呂合わせのほかに、富士市独自の22種類の取組があるという意味もある。普及を進めていきたいので、ご指摘を踏まえて、注釈の記載を検討する。

加藤会長 それでは、政策分野2の「自然・生活環境」についてお願いします。  
池田委員どうぞ。

池田委員 施策1「自然環境の保全・再生」の4つ目に重要種の保護とあるが、重要種とはどのようなものを指すのか。外来種はわかるのだが、重要種は少しわかりづらいのではないかと思う。

事務局 重要種は絶滅種、絶滅のおそれがある種、絶滅のおそれはないものの減少傾向にある種、レッドリストに掲載されている種などを指す。記載の仕方については検討させていただく。

加藤会長 他にございますか。土屋委員どうぞ。

土屋委員 将来のまちの姿で「良好な生活環境を保全していくまち」とある一方で、現状と課題では「生活環境の改善が求められている」とあり、保全と改善の表現が矛盾している。例えば「良好な生活環境を作り出す、創造する」といった表現なら理解できる。  
また、富士山系の記載はあるが、水系、例えば富士川、潤井川、浮島などの記載がないのが気になった。

事務局 委員ご指摘のとおり、保全と改善の表記がわかりづらい部分については、表現を検討させていただく。

また、富士山の記載がある一方で、水の記載が薄い点については、例えば水質検査を実施して水環境の改善を図るという点で、富士川をはじめとした水系について包含的に記載した意図がある。富士川、潤井川などの具体的な記載をどうするかについては検討する。

加藤会長 よろしいですか。他に何かありますか。

深澤委員 先ほどの土屋委員のご意見に共感する部分があり、富士山の恵みとして、地下水、湧水がある。湧水公園、湧水地など、他の章でも記載がなかったので、入れた方が富士市らしくなるのではないか。

もう1点、グラフについて、全ての章を通じて数値化できるものをグラフとしていると思うが、環境基準達成率の「率」というのは、一般の方がわからないのではないか。基準とは、達成しているか達成していないかの判断が一般的である。測点の数に対する達成率だと思うが、わかりづらいものには書いておいた方がよいのではないか。注釈の工夫をした方がよい。

事務局 地下水の記述については検討する。

また、達成率のグラフへの追記については、大気基準は1200検体、水質基準は40程度の検体数であり、自治体ごとに検体数が異なる。他の自治体との比較がしやすいという意図で達成率を採用しているが、注記を検討する。

加藤会長 よろしいですか。他に何かありますか。Zoomの方々もよろしいですか。それでは続きまして、政策分野3の「循環型社会」についてお願いします。

土屋委員 グラフにおいて、ごみの排出総量が令和元年度に上がっている。この要因を聞きたい。

事務局 令和元年度のごみの増加については、年末年始の期間が長く、特別収集を行ったために家庭系焼却量が増加したことが要因と考えている。

土屋委員 この数字が上がったことは大きな要因ではないということか。目立ってしまうので、大きな要因でなければ、縦軸の間を縮めて目立たせない方がよ

いと思う。

それから、成果指標について、200人のモニターの皆さんのアンケートと  
のことだが、こういう分野だと、数値、定量的な評価の方がわかりやすい  
のではないか。

事務局 成果指標については、定量的な評価が望ましいことは理解しているが、個  
別具体的な数値については関連計画の方で管理して、総合計画では、将来  
のまちの姿に向けたもの、全体として市民の皆様にご伝えていくかを踏  
まえて設定しているので、ご理解いただきたい。

加藤会長 よろしいですか。他はありますか。それではどうぞ。

深澤委員 グラフがあるとなおさらそう思う方が多いと思う。グラフでは数値で示さ  
れて、下の成果指標では定性的な評価というのはどうか。  
こういう理由だからこういう評価をしているという説明を丁寧にすべき。  
もう1点、施策の2「廃棄物適正処理の推進」の3点目後段に海洋プラス  
チック問題の記載があるが、それまで新環境クリーンセンターなど地場の  
話が続いている中で、不法投棄といえばその関連だが、ここだけ地球環境  
的な話が入っていることについて、感覚として大きさが違うと感じる。海  
洋プラスチック問題に対する市民や事業者の意識醸成とあり、意識的なも  
のであれば、例えば、政策分野1「地球環境」の中の施策、環境教育の中  
に謳っておいてもいいのではないか。あくまでも感覚的なものなので、検  
討していただきたい。

加藤会長 事務局よろしいですか。

事務局 ご意見を踏まえて検討する。

加藤会長 よろしいですか。他に質問はありますか。

片山委員 施策の1「廃棄物の3Rの推進」の1点目、食品ロス削減とあるが、食品  
ロスが出ている状況について現状と課題に記載がないので、記載してはど  
うか。

事務局 食品ロス削減について、現状と課題の1つ目の中にある「廃棄物の発生を  
一層抑制」に位置づけている。ただし、施策の中で食品ロスが特出しされ

ていることも踏まえて、記載を検討する。

加藤会長 他は何かありますか。どうぞ。

壽福委員 施策の1「廃棄物の3Rの推進」において、新環境クリーンセンターで発生する焼却灰を資源化するとあるが、どのように活用され資源化されているのか。何に活用したのか書いた方がわかりやすいのではないかと。

事務局 これまでは燃えるゴミで発生した灰を埋め立てていたが、新環境クリーンセンターが昨年10月に設立されてからは、焼却灰を建築資材として活用している。ご指摘を踏まえて、表記を検討する。

加藤会長 ありがとうございます。  
続いて、政策分野4「水利用」について、ご意見ご質問がありましたらお願いします。

深澤委員 グラフについて、汚水処理人口普及率という言葉は一般的ではないので、説明を加えた方がよい。

事務局 汚水処理人口普及率は、下水道や合併処理浄化槽を利用している人口を総人口で除して算定した率で示される、汚水処理施設の普及状況である。上下水道の部分は専門的な言葉が多いので、表現については検討する。

加藤会長 他は何かありますか。

片山委員 グラフ全般に言えることだが、この状況がよいのか悪いのか、目標値もないのでよくわからない。現状と課題に書いた方がよいのではないかと。こういう傾向だからこのように改善していきたい、という記載の方がわかりやすくなる。  
また、現状と課題にて、安全でおいしい水道水を市民に供給しているとあるが、安全でおいしい水を富士市はもっとアピールしたらよいと思う。

事務局 1点目のグラフについては、基準の考え方をどのように記載するのかを検討する。  
2点目の安全でおいしい水の表現については、総合計画の中で表現するかどうかも含めて、検討する。

- 加藤会長 ありがとうございます。他に何かありますか。どうぞ。
- 土屋委員 第六次総合計画の人口推計の中位推計にて人口減少が見込まれる。水道事業でも売る相手がいなければ収益が減少するわけで、効率的な水道施設整備など、人口減少、収益減を踏まえて、こういう努力をすることで影響を少なくするといった位置づけや議論はされているか。
- 事務局 委員ご指摘の将来人口を踏まえた施設のあり方について、例えば施策の1の4つ目「現在の運用状況及び将来の需要予測を基に、水道施設の配置及び規模の適正化を図ります」などに位置づけがある。人口減などの将来予測及び適正化について、大きな考え方を総合計画で示し、個別の考え方は事業計画に記載するという整理を行いたいと考えている。
- 加藤会長 よろしいですか。はい。他はありますか。Zoom参加の皆様から何かありますか。はい、若尾委員どうぞ。
- 若尾委員 グラフがよいのか悪いのかわからない。どこを目指しているのかわからない。各グラフに考察を追記してほしい。  
また、わかりづらい言葉が出てきた場合、注釈ばかりで表現するのは難しいと思うので、この冊子を見た人が勉強できるように、QRコードを付して、その場ですぐに学習できるようにしたらどうか。
- 事務局 グラフの考察については、基本的に全てのグラフに考察をつけるということは今のところ考えていないが、現状と課題の文章中でグラフに繋がるような文章をしっかりと考えていきたい。  
また、QRコードというご提案をいただいたので、デザインも含めて、よりわかりやすい表現を検討していきたい。

【基本目標5 活力を創り高めるまち について】

- 加藤会長 政策分野1「ものづくり産業」についてご意見ご質問等ありましたら、お願いします。
- 深澤委員 「現状と課題」のグラフについて、政策分野4にも事業所数を示すグラフがあるので、違いがわかるよう注釈をつけた方がよい。また、文中に「CNF」や「CNFプラットフォーム」などの言葉も大分認知が進んできたが、一般的にはわからない方も多いので注釈を入れた方がよい。
- 加藤会長 事務局いかがでしょうか。
- 事務局 政策分野1と政策分野4のグラフでは、お示ししている事業所の種類が違うので注釈を付けさせていただく。また、用語については、他にも「IoT」や「AI」など注釈が必要なものがあるので、全体的に見直しを行う。
- 加藤会長 続いて、ご意見のある方いらっしゃいますか。片山委員お願いします。
- 片山委員 施策の1「新産業・成長産業への参入支援」において、施策内容の表記が「参入を促進します。」となっており、具体的にどのように参入を促進するのか。
- 加藤会長 事務局いかがでしょうか。
- 事務局 「CNFや次世代自動車、医療、環境など」と「新産業・成長産業」に該当するものについて例示をしているが、参入促進支援策は分野に応じて違うものがあるなど支援策が数多くあるので、一言で表現できるものがあれば修正したい。
- 加藤会長 他にご意見はございませんか。オンラインの方もよろしいでしょうか。それではご意見がないようですので、次に、政策分野2「商業・流通・サービス産業」についてご意見・質問等ありましたら、お願いします。深澤委員お願いします。
- 深澤委員 「現状と課題」の「イベント来場者数」のグラフについて、ここでは、恒常的なにぎわい創出が課題となると思うので、「天候」などによって左右さ



れる一過性のものをグラフにするよりは、「商店街への来場者数」などのような指標を掲載したらいかがか。

加藤会長 事務局いかがでしょうか。

事務局 このグラフは、イベントを通じて、商店街の個店や商品、まちの魅力を知っていただき、来街者増加に繋げる取組状況をお示ししたものだが、委員からのご指摘のとおり、天候や今回のコロナ等の外部要因で数値が変化するものであり、現状や課題をお示しするものではないため再検討する。

加藤会長 土屋委員お願いします。

土屋委員 「主な構成事業」について、ひとつの施策にひとつの事業しか記載されていないものがあるが、この記載されている事業の中で、様々な取組を行っていると思うので、しっかりとやっているということを示すためにも複数個の事業を表記したらどうか。また、「中心市街地の活性化」については、ハードとソフトを分けて記載しており、この政策分野ではソフト部分のみを表記していると思うが、ハードに関連した内容を少しでも入れたらどうか。

加藤会長 事務局いかがでしょうか。

事務局 「主な構成事業」については、現在、表記の方法を課内で検討しており、今後、修正案をお示しさせていただく。「中心市街地の活性化」については、ハード事業によりソフト事業も進んでいくので、庁内担当部署と記載方法について検討する。

加藤会長 他にご意見・ご質問などございますか。オンラインの皆様もよろしいでしょうか。

それでは、意見・質疑等もないようですので以上で、終わりにしたいと思います。事務局は本日の審議内容を踏まえ検討をお願いします。それでは、本日の議事を終了しましたので、議事を閉めさせていただきます。

委員の皆様、ご協力ありがとうございました。